

人間のドック  
脳ドック

伊月健診クリニック  
徳島市東船場町1-8  
☎0120-23-1551

がんの早期診断にも有用な検査です  
PET 検査

洲本伊月病院  
兵庫県洲本市桑間423  
☎0799-26-0770

# 健康

**質問**  
がんと診断されました。主治医から入院前に歯科を受診するように言われました。どうしてですか。

## がんで入院前に歯科受診



青田 桂子  
徳島大学病院口腔内科  
准教授(病院教授)

**回答**  
口の中(口腔)には約600種類の細菌が存在し、歯垢(しゅご)1約には約1億個の細菌が存在しています。身体が健康な場合であれば問題のない細菌も、がん治療によって免疫が低下すると、肺炎や創部感染などの合併症を引き起こし、治療を長引かせることがあります。

口腔は栄養とも深い関係があります。歯の数が減少し、食べ物をしっかりと噛んで食べることができなくなると栄養状態は低下します。低栄養の状態が続くと体力や免疫が低下し、がん治療の妨げになってしまいます。

口腔は衛生と栄養の両方に関わる重要な器官です。口腔ケアをすることで手術後の肺炎や誤嚥性肺炎が減少し、手術後の創部感染も減ります。抗

## 肺炎など合併症を減らす



がん剤治療や頭頸部放射線治療による口腔粘膜炎(口内炎)も軽減することが明らかになってきました。

国はがん対策基本計画として口腔ケアを推進するために、2012年に歯科の健康保険に「周術期口腔機能管理」という



周術期口腔機能管理(口腔ケア)の効果



## 栄養状態改善効果も期待

また、抗がん剤治療や頭頸部放射線治療時の口腔粘膜炎対策では、歯科でしか出せない口腔粘膜炎被覆・保護剤の使用により、口腔粘膜炎の痛みを緩和することができました。

口腔の健康は全身の健康につながる事が明らかになってきています。がんを診断されたら、合併症を防いで治療が円滑に行われるために、ぜひ歯科を受診してください。

**がん何でもクイズ**  
1981年から日本で死亡原因1位の疾患は何ですか。  
①心疾患②脳血管疾患③がん  
行こうよ！がん検診

がんに関する質問は  
徳島がん対策センター  
電話088(634)6442  
(平日午前8時半から午後5時まで)へ。

## 病気がくれた活き生きライフ

鈴木 信行

「入院中に看護師さんらに、とってもよくしてもらったの」。先日、手術のために入院していた親族が、闘病のつらさよりも入院中の体験を熱く語

っていました。確かに医療職の皆さんの仕事ぶりは素晴らしいと思います。自分が逆の立場だったら患者のためとはいえ、ここまでできないなあと感じるのです。

そこで皆さんに提案です。あなたが通院している病院に「投書箱」「意見募集箱」「アンケート」など、患者が意見や感想を伝える仕組みがあったら、そこに良かったことやうれしかったことを投書してほしいのです。

そのような仕組みのある病院では、出入り口の近くとか目立つ場所に投

## 病院の「意見募集箱」

書かれた内容と、それに対する回答が貼られているのをご存知ですか。

ある程度の規模の病院では、患者から意見や感想を集めることが当たり前になっていて、多くの

書かれた内容と、それに対する回答が貼られているのをご存知ですか。

中には医療者を名指しして対応を責めるかのようなものまであります。これは考えているうちに、医療者の

れらを読んで、医療者のやる気は上がるでしょうか？ 私はいつも悲しい気持ちになるのです。

「会計の

## あなたの言葉が変え

場合、投書された意見には病院の経営陣が定期的に目を通しています。

しかし、掲示されている投書と回答を一読してみると、何と二方向的な苦情や叱咤が多いことが。

皆さんからの激励や感謝の言葉があれば医療者のやる気は上がり、互いに心地よい医療現場になるのではないのでしょうか。医療者を育て、よりよい医療環境をつくる責

方には聞いたことがありません。私はいつも「一緒に頑張ろうとおっしゃる看護師さん、良かったです。」

「会計の

医療法人 いちえ会  
**伊月病院**  
内科・脳神経内科・胃腸内科・呼吸器内科・循環器内科・リハビリテーション科・整形外科・リウマチ科  
徳島市徳島町2丁目(新聞放送会館前) ☎622-1117

2019年に「老後2千万円問題」というのが話題になったことを覚えている方は多いと思います。私は当時「そのような問題は存在しない」と、テレビや新聞のコラムで言い続けてきました。理由は、発端となった金融庁の金融審議会の報告書をよく見ると、決して「老後の生活資金が2千万不足する」という話ではないことがわかるからです。

「高齢社会における資産形成・管理」と題した51ページにわたる報告書のうち、注目されたのは10ページに掲載された図です。17年の総務省

